

環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



「ブルーカーボン」って？

昆布やワカメなど、海の海藻が吸収し蓄えるCO₂のことで、2009年に公表された国連環境計画の報告書で定義され、吸収源対策の新しい選択肢として世界的に注目が集まるようになりました。日本でも、この「ブルーカーボン」の取り組みや吸収されたCO₂を売る仕組みも始まっています。ブルーカーボンは、気候変動対策だけでなく、水質浄化や漁業資源の増大にもつながるなど大きなメリットがあります。

「再エネ賦課金」に注目！

再生可能エネルギーの普及のため、電気料金に上乗せされているお金のことで、正式名称は「再生可能エネルギー発電促進賦課金」と言い「再生可能エネルギー特別措置法」により2012年7月から始まりました。賦課金の算出方法は下記の通りで、電気使用量が多いほど金額も大きくなります。

$$\text{再エネ賦課金} = \text{賦課金単価} \times \text{電気使用量 (kWh)}$$

なお、賦課金単価は、調達価格等算定委員会の意見を踏まえ毎年経済産業大臣が決定しています。ちなみに今年の単価は昨年に比べ約2.5倍、3.49円/kwhに決められました。ご存知でしたか？

ひとこと



パソコンの画面から目を離し、窓の方を見ると、ゴーヤのためのネットが目に入ります。

今年もそんな時期になったのかと思うと同時に、この「緑のカーテン」が、近年の気候変動の進行にどれほどの効果あるのか、非常に心もとないのですが、それでも一人一人が取り組めることに取り組んでいくことが大事なんだ！と今年も頑張ってます。ゴーヤの実がいただけるという楽しみも付いてきますしね(笑)



ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第82号

令和6年7月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：井上 浩一 編集責任者：丸井 晶子

この会報誌は再生紙を使用しています

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO. 82
夏号
令和6年
(2024年)

環境ひらかた



令和6年度 通常総会を 開催しました



去る5月25日、令和6年度の通常総会を例年同様サプリ村野2階環境保全研修室で、委任状を含めた46名の出席のもと開催しました。今年度は役員改選期でもあり、総会后に開催された令和6年度第2回理事会で、理事長並びに副理事長が決まりました。（役員の方々のお名前はP2でご紹介しています）

さて、今年度は6号議案までありましたが、すべて原案通り承認をいただきました。会員の皆様をはじめ関係各位の皆様は、特に今年度どのような事業に取り組んでいくのか、今一度事業計画をご覧ください、見守って頂ければと思います。勿論ご参加いただければなおのこと嬉しい限りです。

<ご参加をお待ちしています>

枚方から気候変動を考える

「ひらかたアッチッチサミット」

上記の参加者を募集します。

詳しくはP6をご覧ください



*****目次*****

令和6年度通常総会を開催しました	P1
新理事紹介・新事業の取り組み紹介	
前期環境ミニ講座・環境ティールーム 案内	P2・3
部会報告	P4・5
お知らせコーナー	P6
環境トピック VOL.48	P7
環境ミニ知識	P8

役員の方々を紹介します！(敬称略)

- 理事長 井上 浩一(市民)
副理事長 末岡 妙子(公共交通部会会長)
丸井 晶子(事務局長・運営委員長)
- 理事 市山 二郎(市民)
理事 高岡 督弘(関西電力株式会社 大阪支社 大阪北地域統括長)
理事 兼瀬 和海(枚方市環境部長)
理事 小出 哲男(NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会 代表理事)
理事 谷本 雅洋(北大阪商工会議社所 専務理事 兼 事務局長)
理事 豊高 勝(市民)
理事 福井 克久(大阪ガス株式会社 東部地区支配人)
理事 増本 勝久(天の川を清流にする会 代表)
理事 松田 輝治(一般社団法人 枚方青年会議所 専務理事)
- 監事 中塚 賢(中塚税理士事務所 税理士)
監事 伊賀 新太郎(枚方市 環境部 環境政策課長)

運営委員会のメンバーです(敬称略)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 赤井 誠次 (自然エネルギー部会長) | 藤原 秀昭 (環境教育部会長) |
| 井上 浩一 (理事長) | 丸井 晶子(事務局長兼運営委員長) |
| 市山 二郎 (理事) | 宮村 隆喜 (温暖化対策プロジェクトチーム) |
| 末岡 妙子 (公共交通部会長) | 柳谷 武志 (枚方市 環境部次長) |
| 豊高 勝 (温暖化対策プロジェクトチーム) | |



環境ティールーム 前期 案内 木曜日 10:30~12:00 サブ1村野2階

～お茶を飲みお菓子を摘みながら、みんなで一緒に学び考えてみませんか！前期のテーマは下記です。

7/11 なぜ起きる？ 出力制限！

カーボンニュートラル社会のために、再生可能エネルギーへの変換をといわれています。なぜ出力制限が起きるのかみんなで学び考えてみましょう。

8/8 ピーフアスの 危険性を考える

私たちの身近なところで使われている「有機フッ素化合物」。その種類は4,700種類以上。それらの何がどう危険なのか、知ることから始めませんか。

9/12 次世代太陽光発電 ペロブスカイトって？ その実用化はいつ

「ペレブスカイト」をご存じですか。発見者は日本人！しかしすでに中国では実用化が始まっています。日本での実用化の目途は？実用化されるとどうなる。

環境トピックス Vol.48

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。

今回は、「食べられる家？廃棄食料が新素材に?!」「高浜原発の延長認可が!!」の問題です。

◆食べられる家？廃棄食料が新素材に?!

ある情報番組で廃棄食料が新しい素材になると放送されていました。東大発のベンチャー企業が、この事業をスタートさせたという事です。廃棄食料が新素材に変わる？ということかと言えば、廃棄される食糧を乾燥させて粉末にし、金型に入れ加熱しながら圧力を加えると、その過程で内部の糖分が溶け、食物繊維と結びついて強度が増し、新しい素材になるというのです。例えば、捨てられる白菜を原料にした場合、曲げ強度はコンクリートの4倍になるというから驚きです。原材料によりその強度は違うらしいのですが、組み合わせによって可能性は広がり、既に日用品など制作・販売されています。

食品ロスの問題はこの欄で過去にも取り上げてきましたが、世界では生産された食料の1/3、約25億トンが毎年廃棄されています。日本でも同様です。根本はこの「廃棄される量を減らす」「食料を廃棄しない」ことにあるのですが、こうした新事業が始まることで、食品ロスそのものへの関心が高まり、食品ロスの減少に繋がり、併せてゴミの地産地消になると期待できるのではないかと思います。童話に出てくるお菓子の家ではないけれど、食べられる家が出現するかもしれませんね。

◆高浜原発の延長認可が!!

原子力規制委員会は5月29日、来年で運転開始から40年を迎える関西電力高浜原発3、4号機の最長20年の運転延長を認めました。福島第1原発事故後の法改正で、「原発の運転期間は原則40年」となり、政府は最長20年の延長は「極めて例外的なケースに限られる」としていました。しかし、今回の運転延長で、申請のあった4原発8基すべてが認められたことになり、これらすべてが「極めて例外的なケース」だとされたわけですが、到底納得できるものではありません。また、今後10年で運転開始から40年を超える原発は14基ありますが、「今回の運転延長」の結果に照らせば、これらが次々と運転延長が認められるであろうことは想像に難くありません。加えて、使用済み核燃料の問題もあります。このまま稼働すると、使用済み核燃料は増え続け、原発内のプールは3年でいっぱいになると言われています。「喉元過ぎれば何とやら」私たちは、忘れてはいけない過去は、決して忘れてはいけないのではないのでしょうか。



お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

枚方から気候変動を考える「ひらかたアッチッチサミット」参加者募集

枚方から気候変動を考える「ひらかたアッチッチサミット」開催に伴い参加者を下記の通り募集します。定員をオーバーした場合は抽選となります。

記

実施日：9月～12月 毎月第1土曜日 10:00～12:00 計4回

開催日	時間	内容
9月7日	10:00～12:00	気候変動について基礎から学びます
10月5日	10:00～12:00	枚方市の気候変動に関係する課題は何か、みんなで考え話し合います
11月2日	10:00～12:00	課題解決に向けて話し合い、できること・しなければならぬ事を出し合います
12月7日	10:00～12:00	振り返りとまとめ

場所：サプリ村野南館2階環境保全研修室

定員：30名

参加費：無料

応募締め切り：8月10日

※ 4回出席が原則ですが、できない場合はご相談ください。

※ 保育(1歳以上6歳未満)があります。要事前申し込み



＜お申込み・問い合わせ先＞

ひらかた環境ネットワーク会議

電話：072-847-2286 メール：jimukyoku@hirakata-kankyou.net

避暑空間開設

今年も環境情報コーナーは「避暑空間」としてご利用いただけます。こうした避暑空間を上手く利用することで、一人当たりのエアコンの使用量を見直し、みんなで涼を共有して節電に取り組みましょう。図書館や生涯学習市民センターなど33の公共施設が「避暑空間」になっています。

また、大阪府が実施している「クールオアシスプロジェクト」は、猛暑の際における外出先の一時避難場所として暑さを凌げる涼しい空間(クールオアシス)を提供するものです。枚方市内でも24の施設・店舗がこの取り組みに協力しています。



新事業の取り組み紹介！

枚方市内

枚方から気候変動を考える「ひらかたアッチッチサミット」

と「自然エネルギースポット紹介冊子作り」

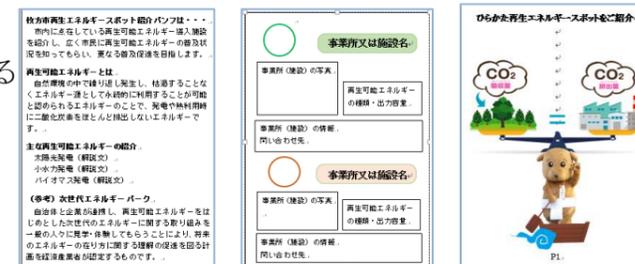


国連のグテーレス事務総長が「地球沸騰化時代がきた」と言ったのはまだ記憶に新しい所です。その言葉を連想させるように、先月6月14日には全国15地点で早々と猛暑日を記録しました。さらに、今年の夏は猛暑が長引くとの予報も出されているなど、温暖化が加速していると感じさせられます。このような状況の中、ひらかた環境ネットワーク会議では、今年度、上の2つの新しい事業に取り組むことが総会で承認されました。

「ひらかたアッチッチサミット」は、みんなで改めて気候変動について学び知り、そして枚方市における課題を出しあい、みんなで課題解決に向けて話し合い、行動に繋げていく新たなスタートの場になればと考えています。(参加者募集についてはP6をご覧ください)

一方「自然エネルギースポット紹介冊子」は、枚方市内に点在している、自然エネルギー(再生可能エネルギー)導入施設や事業所を紹介し、知ってもらうことで再生可能エネルギーの更なる普及・促進に繋がると考えています。今年中に出来上がればいいのですが、今年度はその準備として、まずは調査から始める予定です。

(右はイメージです)



環境ミニ講座 2024 前期 案内

サプリ村野にて開催！夏休み野外活動もあります！詳しくはチラシを。

* エコクラフト * 室外機シェード作り

7月25日(木)
13:30～15:00

エアコンの室外機、直射日光があたる場所では冷却能力が落ちて消費電力が増えます。室外機に日よけを作りませんか。



～夏休み親子教室～ 天の川を遊ぼう！

8月22日(木)
10:00～12:00

川遊びを安全に、そして楽しむための大事なことを知ってみんなで天の川を遊んでみよう！

* エコクラフト * ボタンでアクセ作り

9月26日(木)
13:30～15:00

家に眠っているボタンやビーズを素敵なアクセサリーに変身させてみませんか。





部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。



環境教育部会

「環境教育の新たな輪を広げたい！」

当部会では毎年蹉跎西小学校のエコクラブで「環境出前授業」を通年やらせていただいていた。ところが、今年度はクラブ活動の見直しにより無くなり、「困った！年間予定が立たない！」状況での新年度のスタートとなりました。

そこで改めて環境教育啓発活動について、部会員それぞれの想いや考えを出し合いました。結果下記の方向性を確認しました。

- ・学校から依頼があればその都度、従来の体験型環境出前授業を見直して対応する。
- ・夏休み親子環境講座や他の環境啓発講座にも企画段階から積極的に協力していく。
- ・誰もが講師役を担えるよう、部会で研鑽を積むと同時に、マニュアルを工夫する。
- ・新たな環境教育講座や出前授業プログラムの開発に、各自のアイデアを出していくと共に、実現のための学習や、他部会などの連携も図る。

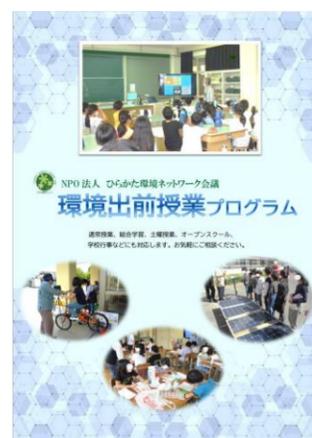
以上を踏まえ、「子供たちの未来のために」を合言葉に、NPOの環境教育推進事業の一翼を担う中で、新たな活動への広がりを目指しています。

そんな中、5月に入って全小学校に配布した「出前授業のプログラム冊子」の配布の甲斐あって、オープンスクールの時間で「酸性雨」をテーマに体験を交えた環境出前授業をして欲しいとの依頼が来たのです。

また幸いにも「子育て世代」の新部会員も今年度から加わり、新たな視点での提案も取り入れながら、全員でやり甲斐のある楽しい活動にしていきたいと頑張っています。「乞うご期待！」



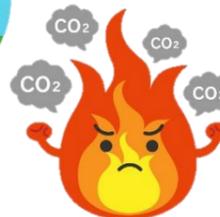
このメンバーで楽しく活動しています。
皆さんも仲間になりませんか？



上のQRコードで
左の「環境出前授業
プログラム」の中味
を見ることができる
よ！



自然エネルギー部会



サルも木から落ちる！

～熱波による重度の脱水で、 野生のサルが落ちて死亡～

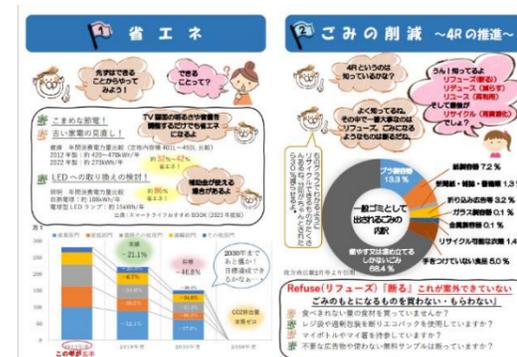
5月末、インドは猛烈な熱波に見舞われ、首都ニューデリーの一部地域では気温が過去最高の52.9度を記録したとされています。また、記録的な熱波が続くメキシコでは、野生のサルが「重度の脱水症状」で「リンゴのように木から落ちて」死んでいるとの報道もありました。本当にこのままでいいのでしょうか？！

いいわけはありませんよねー。対策はただ一つ！一刻も早く温室効果ガス(CO₂等)の排出を削減することしかありません。

そこで、当部会では今年度も「カーボンニュートラル社会を早期に実現する」との意識共有の形成に向け、「自然エネルギーの有効性・必要性」を知る機会となる事業として『自然エネルギースポット冊子作り』等に取り組みます。

さらに、「脱炭素への取組み、温暖化対策等」に係るワークショップや街宣活動を活用しての意見交換会などを他部会との連携も視野に入れて実施することとしています。

その街宣活動ですが、去る6月9日(日) 五六市で下記のチラシを配りCO₂削減を訴えました。併せて、CO₂削減行動についてのシール張りアンケートもしてもらいました。アンケートの参加者といろいろとお話しをさせていただく中で、市民の皆さんの考えや思いを感じることができました。



皆さんと一緒に、CO₂削減に向けガンバリます。
手をつないでいきましょう。ヨロシク！！